

名寄市教育改善プロジェクト委員会とは

名寄市では、平成24年度より、教育の今日的な課題に適切に対応していくために、名寄市教育研究所内に「教育改善プロジェクト委員会」を新設しました。

今後、知・徳・体の調和の取れた児童生徒の育成を目指し、総合的な教育研究等を進めていきます。

また、新たに北海道教育委員会が試行実施する「学校力向上に関する総合実践事業」の実践指定校に名寄小学校、その事業の成果を吸収する近隣校に名寄南小学校、名寄西小学校、風連中央小学校が選ばれました。

今後、実践指定校では、包括的な学校改善に取り組むとともに、初任者研修を自校で実施したり、放課後の研修に近隣校の教員を受け入れたりするなど、将来のスクールリーダーの育成が行われます。

なお、教育改善プロジェクト委員会では、この総合実践事業と市内の小中学校が一体となって進める学力向上の取組とを連動させながら教育研究を進めてまいります。

平成25年度の活動

今年度、6月18日に、第1回名寄市教育改善プロジェクト委員会を開催し、委員として市内小中学校の校長と教頭、教諭ら合わせて64名が委嘱されました。この委員会では、児童生徒の「生きる力」を育むために、「学習指導の工夫改善」「校内研修(研究)の充実」「教育資源等の活用」の三つの研究グループをつくり、5か年計画で研究を進めてまいります。とりわけ、これから3年間は、「確かな学力」の育成を図るために、実践的で効果の上がる方策を構築し、市内小中学校で共通理解を図りながら取組を進めてまいります。

本年度から、北海道教育委員会が試行実施する「学校力向上に関する総合実践事業」では、指定校の名寄小学校が、基礎・基本を習得させる教育課程・指導方法の工夫、放課後や長期休業中等における補充的指導などの取組を進めております。また、近隣校の名寄南小学校、名寄西小学校、風連中央小学校と連携して初任者研修を実施するなど、教員を育成するための新たな仕組の構築に着手しました。

今後、教育改善プロジェクト委員会では、この総合実践事業と市内の小中学校が一体となって進める学力向上の取組とを連動させながら教育研究を進めてまいります。